

“武西・谷田の自然に親しむ会”の今後についての集まり

3月3日(金) pm6:30~9:00

於:ウエルプラット(保健福祉センター) ボランティア室

記録:相馬なおみ

参加者:塚さんご夫妻(印西市でサシバの調査をされています)・永瀬さん・
米田さん・坪井さん・岩本さん・新堀さん・坂巻さん・新見さん・
斉藤さん・森田さん・相馬(な)…… 計12名

◆ 今日集った経緯の説明:長谷川先生から

○一番大切なことを1つ

昨年暮れから、武西・谷田地区を守ることに、なんとかできることはないかとチラシを作ったり、パネル展に参加したりと色々してきたが、ここにきて県がこの地区の土地をいよいよ売るという切迫した状況になってきました。

そこで なんとか一歩踏み出したい色々考えていたが、結論として 印西市と白井市の自然環境関係団体で要望書を千葉県知事に提出することに致しました。

それにより、県から『企業庁はこの土地を売却せず、県が所有した状態で保全に活用してもらおう』という判断をなんとか引き出せないかと考えています。

○今までのだいたいの経緯:

- ①武西・谷田地区の土地を県が手放して業者或いは元地主さんに売るといふ動き
- ②去年8月に『まいたいむ北総』にケビン・ショートさんが(①を背景として)武西・谷田の保全に対する記事を出す。
- ③堀田先生(千葉敬愛短期大学名誉教授。長年湧水の調査をされている)が、この地区で観察会を開く。
- ④観察会に参加した“自然を考える会”の岩本さんたちから、貴重な植物が踏み荒らされる危険があるという相談を受ける。
- ⑤長谷川先生と堀田先生が接触。①②の背景を知る。又、堀田先生が、印西市の助役にはたらきかけて、土地を売却しないように県知事にはたらきかけていた事等を知る。
- ⑥長谷川先生が、⑤を白井市に報告。白井市でも既に市長が谷田地区を売却しないように県知事に要望書を出していたことを知る。
- ⑦印西市・白井市がお互い保全に向けて努力していたことを受け、再度そのことを市民の人に分ってもらうきっかけにする為に、ケビンさん・長谷川先生両氏が、要望書を市に提出し、県にはたらきかけて欲しいと動く。
- ⑧その後、暫くの間動きが無かったが…
白井市役所は、保全の動きが、継続
印西市役所は、市民からの要望がはっきり無かった為 上層部のみの保全の動きにとどまり、全体の動きになっていなかった。

- ⑨再度のプッシュにあたり、印西市の自然環境団体の方にも一緒に動いて頂くため色々な方々と相談の下、『印西市、白井市の両市民団体の合意に基づく武西・谷田の自然環境保全の要望書提出について(案) 2006, 2, 21』(添付ファイル)の作成。
- ⑩その内容を NPO法人しろい環境塾の上西さんと NPO法人ラーバン千葉ネットワークの鈴木さん、丹沢さんと相談。核となる団体などを相談。
- ⑪核になるそれぞれの環境団体に話をし、OKをいただく。
- ⑫要望書提出にあたり、3月12日に印西市にて 印西市3団体、白井市3団体の核になる環境団体(私たちも含む)が集り、合意をしていく。

……ということの流れをみなさんに話さず、2月25日の環境調査員養成講座のパソコン講習の後に 突如 ⑫の参加をお願いしてしまいました……

◆“武西・谷田の自然に親しむ会”の今後:長谷川先生とみんなの話し合い

○“武西・谷田の自然に親しむ会”の名前の変更について

長谷川先生からの3月3日のメールそのまま

『……今回、武西・谷田の自然を保全する活動を進めるにあたり、いろいろな流れがあつて、それをひとつにまとめて、知事への要望という形にすることができたのは、ケビンさんの記事に始まり、白井、印西市民のみなさんと交流を持てたおかげだと思っております。(添付ファイルを参照ください)

私がこの課題に関していろいろと動くことができたのは、白井自然環境調査員養成講座に参加してくれた皆さんの想いと支持があったからです。保全を呼びかけるちらしを作成するにあたり、白井自然環境調査員有志というかたちで皆さんに協力を求め、皆さん快く引き受けてくださいました。そして、2月10日、11日に佐倉市臼井で開かれた第3回印旛沼再生行動大会に参加する際に、事務局から名無しの権べいは困ると指摘され、急遽名付けたのが、“武西・谷田の自然に親しむ会”との名前です。当然のことながら、名簿もなく、組織もなく、したがって実態は無きに等しい状態でした。にもかかわらず、チラシには武西・谷田の自然に親しむ会(準備会)と名前を入れました。その意味では、すでに歩き出した会との解釈も成り立ちます。

しかし一時の混乱を承知の上で、言い出した私としては、白井自然環境調査員有志の皆さんに、以下のように提案したいと考えております。

- 1) 武西・谷田の自然に親しむ会の名称で会を続けるよりも、12日をもっては短期間の活動をもって使命を全うして解散し、
- 2) 新しく、北総生物調査会として再編成する。
- 3) 会の方針を確認し、体裁を整える

もともとの経緯を考えれば、名称も含めて、継続させるのは無理がありますし、会の構成員は生物の調査を主な活動とする人間が中心になっているので、武西・谷田での保全・保護活動は行うものの、活動地域を限定させるような名称ではなく、北総地

域で市民が調査活動を展開し、交流し、大切な場所の保全に力をつくすという会にしたいと考えました。一白井市民としての私が自然環境保全を県や、市町村に訴えるときに、支えてくれる仲間になってほしいというものです。普段は、中立の立場で自然環境を調べ、その成果を広く市民に伝えることを活動の中心に据えるものですが、一旦事があれば(保全の急を要する場合)、しっかりとした調査結果に基づいて保全活動をするという性格を持たせたいと思っております。

そして、メンバーは当初の白井市民だけに限定するようなことをせず、北総地域の自然を対象に調査活動する市民に開かれたものしたいと思います。……』

○新しいネーム“北総生物調査会”について

・先生から“北総 生物 調査会”の説明

(北総) の由来……以前、白井市と印西市の合併する時のネーミング

(生物)⇒ ⇒ ⇒ もっとやわらかく、(生き物)に変更したい

(調査)……私たちの会の一番の特長が一番出ている単語なので

<ネーミングの案>

北総の生き物を調べる会 北総の生きものを守る会 北総の生きものを調査する会

北総生物保存調査会 北総生きもの調査会 北総生きものリサーチ…… etc

みなさんから、その他、色々な意見がでました……

決定

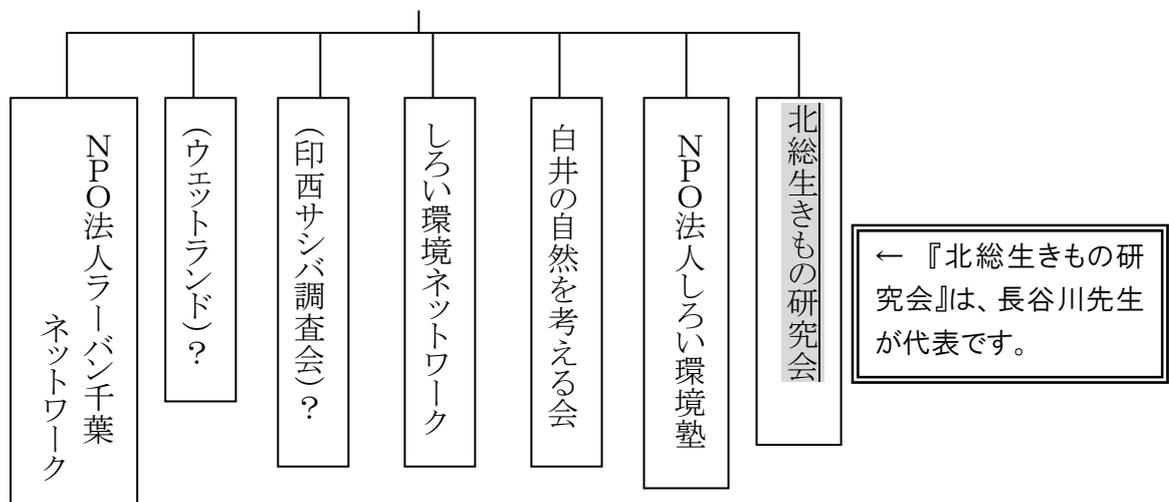
3月3日PM8:05をもちまして

北総生きもの研究会

の誕生となりました。

◆ 3月12日(日)について

武西・谷田の保全を求める【要望書】の提出にあたり、呼びかけ人のケビンさん、長谷川先生+呼びかけ団体6団体+私たちの団体が、合意をする集まりです。



◆ “北総生きもの研究会”の組織づくり

○三役、会則など決めましょうか・・・ でもこれについては、全員がいる時の方がいいでしょう。

○“北総生きもの研究会”のメンバーは誰になるの？

……………以下はこの場で賛同したメンバーです

齊藤さん・堺さんご夫妻・永瀬さん・米田さん・坪井さん・岩本さん・新堀さん・新見さん・森田さん・相馬(な)

○スケジュールについて

———— 先生から『自然環境調査員養成講座の**観察会のスケジュール**』の配布

・**観察会の意義**

- ①「この武西・谷田地区のコースを配慮した観察会を通して、普段あそこを知らない人にも来て頂こう」
- ②「私たち自身をもっとよく自然を理解して 色々な保全の為の提言を考える準備をしていく」

・**地域で行われている『自然観察会の総合日程表』について**

———— それぞれが所属している団体の年間の観察会日程を1つにまとめることにより、

- ①いつでもどんな団体が、観察会をしているか、地域の一般の方にも参加していただきやすい。
- ②交流の場を広げていきやすい。
- ③それぞれが触発しあい、それぞれの個性を認識しあう要素になる。
- ④集合場所、問い合わせ先等、これから調整の必要アリ。

◆ その他……………

・長谷川先生より

「自然環境調査員養成講座1期生の皆さんは講義から実習を受けましたが、矢野さんや坂巻さんなどは実習から入っていますので、これからもう一度同じ講義をやっていきます。」

・地図について

「印西市の地図も用意していきます」

・各人が行う調査の計画などについて

「どこでどんなものを見たかの記録をみなさんにとっていただくために、『デジカメ観察図鑑』を作って頂こうと パワーポイントをまわしていますので日々の記録としてください。」

※ ————— 以上が当日の集まりのだいたいの流れです。
分りづらい点、間違い等ありましたら 相馬(な)までご連絡ください。

大事なお知らせ 5つ

- ① 『要望書』の合意のための集り:3月12日(日) PM1:00～
場所:印西市サザンプラザ (スーパーカスミの裏)
自由参加です。
☞ 長谷川先生よりメッセージ
「僕が一番頼りにしているみなさんに、来て頂きたいです。」
- ② 3月18日(土) pm1:30 市役所集合で 谷田へ観察会
その後、ウェルプラット(保健福祉センター)のボランティア室にて

北総生きもの研究会の組織作り

となります。
会の活動の方向性や組織・役員決めなど重要な話し合いになりますので是非ご参加ください。

※尚、欠席者は、どんな形ででもいいですから、委任状をお願いいたします。
- ③ 3月3日の(1ページから4ページまで)話し合いの内容に関して意見のある方は、
長谷川先生へFAXなりをしてください。
もし、意見等がなければ 合意と見て進んでいくことになると思います。
- ④ 3月3日に欠席の方で“北総生きもの研究会”に入る方は、3月15日まで長谷川先生へ加入の連絡をしてください。
- ⑤ 『2006年 観察会スケジュール表』は、みなさんが、それぞれ所属されている会の観察会の日程を組み込んで行き、会の皆さんへ、また広く地域の方々にお知らせしていく土台となるものです。
それぞれの会の年間スケジュール等が決まりましたら、森田さんのほうまで連絡をお願いいたします。